



# ふくやま 市議会だより



今回の定例会は

3月 6月

No.63

12月 9月

## 3月定例会

発行 / 福山市議会 編集 / ふくやま市議会だより編集委員会  
発行日 / 2017年(平成29年)5月1日  
〒720-8501 福山市東桜町3番5号  
TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●

蓮池(通称どんどん池)  
「西町および木之庄町」

3月定例会の概要	2
議案の審議結果	3～4
代表質問	5～9
一般質問	9～11
委員会の活動	11
議員研修会	12

# 平成29年3月定例会



平成29年3月定例会（2月27日～3月23日／会期25日間）の概要は次のとおりです。

**27日** 総務課長が1件の市長専決処分について報告

市長が市政の状況と34議案の提案理由を説明

**6日～8日** 議案や市政全般について6人の議員が代表質問

**9日** 議案や市政全般について6人の議員が一般質問

**9日質問終了後** 市長が10件の追加議案の提案理由を説明

一般会計などの当初予算案16件と補正予算案8件の合わせて24件は、予算特別委員会を設置して付託、それ以外の20議案は所管の常任委員会に付託

**10日** 4常任委員会でそれぞれ議案を審査

**13日～17日** 予算特別委員会で議案を審査

**23日** 議案を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、それぞれ採決し、44議案を原案どおり可決

## この定例会で決まったこと（一部をお知らせします）

### ■平成29年度当初予算

会計名	平成29年度当初予算額	平成28年度当初予算額との比較	
		増減額	増減率
一般会計	1,643億7,000万円	△16億1,500万円	△1.0%
特別会計	1,054億5,833万1千円	21億7,129万円	2.1%
企業会計	607億4,886万7千円	△20億3,196万円	△3.2%
合計	3,305億7,719万8千円	△14億7,567万円	△0.4%

### ■平成29年度の主な事業

- 福山駅前への再生に向けたビジョンの策定  
2,946万6千円
- 福山版ネウボラの創設  
2億4,617万7千円
- 6次産業化の推進など農林水産業の活性化  
8,084万9千円
- 中学校給食実施校の拡大  
2億3,684万4千円
- 車のまちづくり  
2億1,717万4千円  
など

### ■平成28年度補正予算

- 小中学校校舎耐震補強改修  
18億7,340万円
- 小中学校便所洋式化改修  
1億9,200万円
- 沼隈町など6カ所の地域集会所の増築、改修費助成  
204万3千円
- (仮称)水呑交流館整備  
2億5,900万円  
など

### ■条例

- 公文書の開示を請求できる人の範囲を拡大し、現行の「市の区域内に住所がある人」などから、制限のない「何人」に改めます。(情報公開条例の一部改正)
- 議員および市長の資産や所得など各報告書や政治倫理審査会意見書の閲覧を請求できる人の範囲を現行の「市民」から、制限のない「何人」に改めます。(政治倫理の確立のための市議会議員及び市長の資産等の公開等に関する条例の一部改正)
- 基金の設立目的である社会福祉の増進に資する支援事業に必要な経費の財源に充てる場合に限り、基金の元本を援助に充てることのできるよう改めます。(ライオンズ福祉基金条例の一部改正)
- 本市が運営する放課後児童クラブのうち、利用者に関する基準を満たす施設について、その利用対象児童を小学校の全学年の児童に改めます。(放課後児童クラブ条例の一部改正)

## 平成29年3月定例会 議案の審議結果一覧

○は賛成、×は反対

付託委員会	議案名	水曜会 (15人)	公明党 (7人)	誠友会 (5人)	日本共産党 (4人)	市民連合 (4人)	新政クラブ (3人)	無所属 (2人)	採決結果
総務	情報公開条例及び政治倫理の確立のための議会議員及び市長の資産等の公開等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	職員定数条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	可決
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	職員退職手当基金条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	可決
	包括外部監査契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	可決
民生福祉	手数料条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	可決
	ライオンズ福祉基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	×	○	○	○	可決
	放課後児童クラブ条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
文教経済	教科用図書選定委員会条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	可決
	企業立地促進条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
建設水道	ふるさと・水と土の保全基金条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	可決
	地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	深津住宅3号棟(27・高耐)建設工事請負契約締結の変更	○	○	○	○	○	○	○	可決
	調停の申立て	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	可決
	異議申立てに係る諮問	○	○	○	○	○	○	○	答申
予算特別	平成29年度一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度都市開発事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	可決

次ページに続く

○は賛成、×は反対

付託委員会	議案名	水曜会 (15人)	公明党 (7人)	誠友会 (5人)	日本共産党 (4人)	市民連合 (4人)	新政クラブ (3人)	無所属 (2人)	採決結果
予 算 特 別	平成29年度集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度介護保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度食肉センター特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度駐車場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度商業施設特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度誠之奨学資金特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成29年度水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度工業用水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	可決
	平成29年度下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度一般会計補正予算	○	○	○	×	○	○	○	可決
	平成28年度都市開発事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度集落排水事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度駐車場事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決	
平成28年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決	

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

# 代表質問

この定例会では、議案や市政全般について、各会派を代表して6人の議員が質問し、活発な議論を展開しました。

各会派の質問の配分時間は120分です。その概要は、次のとおりです。

\*代表質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。

## 水曜日



高田 健司

### 平成29年度予算編成に懸ける市長の思いは

**問** 公約に掲げられた5つの挑戦を実現するため、初めての予算編成に懸ける市長の思いは。

**答** 昨年、市制施行100周年を迎えた本市は、今、次なる新たな

なステージへと歩みだすスタートラインに立っている。平成29年度予算は、まさに、福山市の未来に向けた新たな一歩を記すものである。地方には、若者の流出に伴う人口減少など、これまで経験のない時代の波が押し寄せている。このような時代にあって「成長のない都市に未来はない」と考えており、子どもから高齢者まで、誰もが魅力を感じ、将来にわたって成長する都市の実現に向け、積極果敢に挑戦していく、そうした思いを込めて、平成29年度予算を「未来への挑戦予算」と名付けた。

### 福山版ネウボラの取り組みは

**問** 平成29年度から実施される福山版ネウボラの取り組みの具体は。

**答** 妊娠期から学童期までの切れ目のない相談支援をワンストップで行うため、身近な相談窓口を市内12カ所に開設し、専門性を持った相談員を配置する。福山版ネウボラの特徴は、全国初の「ネ

### 福山北産業団地Ⅱ期工事の計画は

**問** 福山北産業団地Ⅱ期工事について、見直し修正した計画の具体は。

**答** 現在、平成21年に策定した基本計画の修正を行ったところで

### 平成29年度の子育て支援策は

**問** ①保育料の減免は。②子どもの医療費助成制度の拡充は。

**答** ①国は平成28年度に引き続き、所得制限を設ける中、幼児教育の段階的無償化を推進する方針

ウボラ相談員養成プログラム」であり、このプログラムでは、独自のカリキュラムに加え、ステップアップをめざす養成プログラムも市立大学と連携して構築し、レベルの高い相談員の養成をめざす。また、新たな事業として、産後ケア事業、産前産後サポート事業産後ヘルパー派遣事業、9カ月の乳児健康相談における動機付けのためのプレゼント配布や就労支援事業も実施する。

ある。この結果、実地調査や実測等を伴わない概算で、事業区域面積は約50ヘクタール、分譲面積は約24ヘクタールと、見直し前とはほぼ同規模の計画となった。今後、本修正案を基に公共投資関連事業との仕分けや実施手法等について必要な検討を加え、事業実施の判断をしていく。

である。本市でも、国の制度改正に応じた保護者負担の軽減を図る。②国は未就学児までを対象とする医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担のペナルティーを平成30年度から廃止するとしている。本市は国の動向を踏まえ、平成29年度に行う子ども貧困実態調査の結果を分析する中で検討していく。

\*3月定例会の代表質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。

## 行政主導による 中心市街地の活性化とは

**問** 行政主導による伏見町地区および三之丸町地区の課題解決のための施策イメージは。

**答** 行政主導とは、再生ビジョンの策定を通して、駅前再生についての明確なメッセージを市民の

## 中学校給食の全面実施の予定は

**問** 中学校給食の全面実施に向けての今後のスケジュールは。

**答** 平成29年9月から東中学校をはじめ6中学校で給食実施の予定であり、実施率は、現在の25・7%から42・9%となる。また、平成30年4月の大門中学校での親

## 教職員の勤務状況は

**問** 教職員の勤務の現状と課題の改善策は。

**答** 機械警備開始時刻が一律に全教職員の退校時刻を示すものではないが、平成28年度を含めた3年間、小学校は平均でおおむね20時、中学校は21時となっております。

皆さまに伝えることと考えている。

このビジョンに基づき、例えば駅前を訪れた人々が憩い、集う広場のような良質な公共空間を整備し、民間が投資しやすい環境を整備することも行政主導の一つであると考えている。また勉強会などの対話の場づくり、まちづくり手法に応じた支援、規制緩和など行政の役割はさまざまあると考えている。

子方式による実施に向け、親校となる野々浜小学校の給食室を、平成29年度中に大規模改修する予定。引き続き、安心・安全な給食を安定的に提供できるように、効率的・効果的な実施方式についても検討する中で、平成29年度において全体計画を策定し、完全実施に向けた取り組みを加速していく。

変化はほとんど見られない。

そこで、来年度からは新たに中・高等学校で平日の部活動休養日の設定、夏季休業中8月14日から16日までの間、全学校一斉閉庁毎月の一斉研修日を含め毎週1回以上の定時退校を実施することとしている。各学校においてもグループウェアを活用した情報共有の徹底による会議の削減や、作成し

た教材や文書の共有による作業時間の削減、出張時の直帰の促進など既に準備している。

## 新総合体育館の利活用は

**問** ①全国規模の大会開催やプロスポーツの試合開催の考えは。

②芦田川との一体的な利用は。

**答** ①新総合体育館は、全国的な大会やプロスポーツの開催が可能な規模・機能を有する施設として平成31年度中の供用開始を予定している。現在、完成後に誘致できる大会について各競技団体と個

に協議を行っており、バスケットボールの「Bリーグ」やバレーボールの「Vリーグ」、また日本卓球リーグなどの誘致について、積極的に取り組んでいきたいとの意向を示していただいている。

②新総合体育館の大きな特徴は、芦田川に面した立地と隣接する公園整備である。体育館本来の機能に加え、これらの特徴を最大限に生かした「福山らしい」体育館とするため、体育館、公園、河川敷を一体的に活用していきたい。

## 公明党



塚本 裕三

## 平成29年度予算は

**問** 市税収入の増減要因と内訳は。

**答** 主な増加要因は、給与所得の伸びで個人市民税が4億6000万円、家屋の新増築と償却資産の設備投資の増加により固定資産税が3億8000万円増加の見込み。減少要因は、製造業の減益や法人税率の引き下げにより法人市民税が2億5000万円減少の見込みであり、市税全体では、平成28年度予算と比べ8億5000万円の増加を見込んでいる。

## 放課後児童クラブ整備方針は

**問** 放課後児童クラブを適正

**答** 新たに約40クラブで教室の増設が必要と想定しており、施設に配置、運営するための課題は。

整備と放課後児童支援員などの職員確保が課題である。このため、公共施設の有効活用や、継続的、

安定的運営ができる社会福祉法人等への委託、有資格者の発掘等、職員の確保に取り組んでいく。

### 公共施設等サービス再構築 基本方針は

**問** 公共施設等再構築の推進は。

**答** 公共施設サービス再構築検討委員会において全市的視点で施

設の効率的な運営に取り組んでいる。平成28年度中には固定資産台帳を整備し、取得価格、耐用年数等の資産の情報も一元的に把握できるようにすることから、より一層公共施設等の適切な管理および有効活用に取り組んでいく。

### 福山版ネウボラは

**問** ①利用者支援事業との整合は。

②相談員の配置は。

**答** ①利用者支援事業は、子育て家庭のニーズを把握し、地域の子育て資源を円滑に利用できるよう助言、指導を行うもので、さらに充実するため、福山版ネウボラ

### ものづくり福の耳プロジェクト の取り組みは

**問** ものづくり産業における人材の確保、育成の今後の支援は。

**答** 技術・作業系の人材確保を経営課題に挙げる企業が多いため

として再編する。  
②妊娠期から学童期まで切れ目のない相談支援をワンストップで行うため、身近な相談窓口を保育所6所、拠点支所4所、すこやかセンター、エフピコRiMに開設し専門性を持った相談員を配置する。また「ネウボラ相談員養成プログラム」を構築し、全国ナンバーワンの相談員の養成をめざす。

福山大学、ポリテクカレッジ福山福山工業高校等の学生・生徒に、就職先の選定理由や希望する就職場所等について、また、企業には採用で重視する事項等についてアンケートを実施している。今後、調査結果を踏まえ、より効果的な人材確保の支援に取り組んでいく。

## 誠友会



稲葉誠一郎

### 市長の政治姿勢は

**問** ①市長に就任してからの半年間を振り返り、改めてふるさと福山への率直な思いは。  
②次なる100年に向けて、市長が思い描く「未来の福山」への期待は。

**答** ①ふるさと福山が、時代の

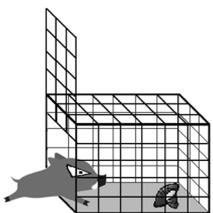
### 有害鳥獣の実態調査と対策は

**問** ①有害鳥獣による被害への対策は。  
②電子機器の開発に対する支援は。

**答** ①有害鳥獣による被害については、農家の営農意欲を減退させるとともに市民の安心・安全の見地からも重要な課題であると認識している。農家の思いを共有し引き続き、効果的な被害防止に向け、積極的に取り組む。

流れに漂うだけの一都市に甘んずることなく、活力と魅力に満ちた輝く都市でありたいという思いを強く持ち、政策判断に当たってはスピード感を重視してきた。  
②本市には個性豊かな歴史・文化オンリーワン・ナンバーワン企業の集積、琴や下駄、備後絣などの伝統産業など、福山で育まれてきた多くの強みがある。これらの強みをさらに磨き上げ、発信することで福山の魅力が高まり、ヒト・モノ・情報などが集まる活力と魅力あふれる都市へと成長していくことを確信している。

②有害鳥獣対策に関する機器は、捕獲の効率化や労力の軽減を図る上で有効であると考えられる。本市には多様なものづくり企業が集積しており、新たな商品開発につながるよう、現場の実態などを企業に情報提供すると同時に、国等の研究開発にかかる補助制度の活用を促していく。



\*ものづくり福の耳プロジェクト: 2016年(平成28年)11月からスタートした福山市職員による市内事業者(主に製造業)への訪問活動のこと。各事業者が抱える経営課題やニーズ等を聴取して、より効果的な産業施策等に反映することが主目的。

日本共産党



土屋 知紀

乳幼児等医療費助成制度の拡充を

**問** 乳幼児等医療費助成制度は現在、中学生まで拡充している自治体は、通院では99.6%、入院1200自治体、高校生までは、通院は26.9%、入院28.6自治体となっている。

本市は、通院は2004年に0歳から就学前までに、入院は2005年に小学3年生から小学校卒業までに広げて以来12年間、制度を拡充していない。制度の拡充を英断すること。

**答** 本制度は、本来、国が責任をもって構築すべきものであり、本市としては、引き続き全国一律の制度として創設するよう、全国市長会を通じて国に強く要望する。制度の拡充は、国の動向を踏まえ、2017年度に実施する「子どもの貧困実態調査」の結果を分析する中で、検討する。

鞆の重伝建指定と港湾5点セットの国史跡指定を

**問** ①重要伝統的建造物群保存地区の選定について、市は8.6ヘクタールの範囲の保存方針建造物の特定、地区内の管理、防災施設、環境整備などの計画を定め、文化庁へ計画を申し出ることになるが、今後、保存地区の範囲拡大を求める。  
②雁木、焚場、常夜灯、波止、船番所の港湾5点セットが現存しているのは全国でも鞆の浦だ

けであり、国の史跡の指定をめざすこと。

**答** ①まずは、江戸時代、明治時代などの古い建造物が密集して残り、港湾施設とともに港町の特徴をよく表している8.6ヘクタールについて、保存計画を策定し重伝建選定につなげ、保存地区の拡大については、将来に向けた検討課題と考えている。  
②現在、県が老朽化した雁木の復元整備を行っており、並行して県と市が共同で発掘調査を行い、文化財としての価値を調査している。

市民連合



池上 文夫

通学路の交通安全対策と幹線道路網の整備促進を

**問** ①通学路の交通安全対策における、課題のある未着手箇所について改善の見通しは。  
②国道2号松永道路の全線4車線化により期待される効果は。  
③福山道路の整備促進は。

**答** ①「通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関・団体および地域関係者による危険箇所の合同点検を2年ごとに行い、計画的に対策を実施している。未着手箇所については、再度、合同点検を行うなど対策案を見直し、早急に対策を講じる。  
②渋滞が緩和され、スムーズな交通を確保し、交通事故の減少なども期待している。  
③整備促進を加速化するため、行政、議会、経済界の代表者で整備促進期成同盟会を立ち上げ、国に対し、より効果的に働きかけを行う。

子どもの貧困対策は

**問** 2017年度、子どもの貧困実態の調査や、健全育成事業の拡充などに取り組むことは大いに評価する。子どもの貧困は、その保護者の困窮など生活全般の課題である。  
実態調査の内容、スケジュール、対象範囲は。

**答** 実施に当たっては、貧困の実態を浮き彫りにするとともに、連鎖を断ち切る方法を推定しうる

調査内容となるよう、関係課や県と連携する。調査は、小学5年生および中学2年生がいる世帯から抽出した児童生徒およびその保護者を対象とし、調査項目は県が定めた共通項目に、本市の独自項目を加える。  
スケジュールは、県と足並みを揃え、7月中に調査票の配布、回収を行う予定で、調査結果は2018年3月に公表していく予定である。

新政クラブ



大塚 忠司

マイナンバー制度における「情報連携への対応」は

**問** 個人情報のやりとりや福祉サービス、子育て支援などの情報が確認できるマイナポータルサービスの運用が7月から開始される。マイナポータルを活

用した子育て支援と「福山版ネウボラ」との連携は。

**答** 子育て支援サービスなどを有効に利用していただくため、マイナポータルの「お知らせ」機能や、「子育てワンストップサービス」の検索や申請機能を活用することが必要であると考えている。

今後、本市で開発予定の「福山版ネウボラアプリ」の詳細な機能などを検証していく中で、マイナポータルとの具体的な連携方法を探っていく。

100人委員会応募用紙に記入された意見の活用は

**問** ふくやま未来づくり100人委員会の募集では、2つのテーマで一言意見を記入していただいている。応募された374人の方々は、それぞれに何らかの思いがあるはずで、100人委員会から外れた方の意見を今後どのように活用するのか。

**答** 選考から外れた方々の思いを無にすることがあってはならないと考え、数多く届いている福山



ふくやま未来づくり100人委員会

の未来に対する思いや委員会への期待を記したメッセージは、第1回委員会で委員の皆さまにご覧いただいたところである。

今後は、市民応援団として委員会に関わっていただくため、節目節目に委員会の様子を提供し意見を頂きたいと考えている。

# 一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、6人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。その概要は、次のとおりです。  
(一) 内には、各党派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	2人	70分
誠友会	1人	40分
日本共産党	1人	35分
無所属	2人	各30分

\*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



大塚 拓介  
水曜会  
(35分)

福山駅を「福山城駅」に

**問** 福山駅を福山城駅と改名すれば、福山市の知名度は飛躍的にアップするのではないか。

**答** 駅名を改名することは、福山城の遺構の中に駅があるという情報発信につながり、知名度向上の効果が期待できると考える。改名に当たっては、市民の理解



福山城と福山駅

や盛り上がりが見えないものと考えている。

\*3月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。



連石 武則  
水曜会  
(35分)

**活力と魅力に満ちた輝くまちをつくるためには**

**問** ①人口減少対策は。  
②若者対策は。

**答** ①人口減少は、市全体の課題であり、第五次総合計画では市内を6つの地域生活圏に区分し、各地域の個性と魅力を生かしたまちづくりを進める。福山版ネウボ



能宗 正洋  
誠友会  
(40分)

**新たな視点による観光振興策は**

**問** 観光振興、魅力向上策として、本市の観光対象場所に工夫したスタンプを置き、コース達成者に地産品等をプレゼントする、スタンプラリーの導入は。

**答** 複数の観光資源を巡るスタンプラリーは観光地等を来訪するきっかけをつくり、今まで知らな

ラの取り組みや、女性が活躍できる施策などを力強く推進し、人口減少の抑制に取り組む。

②若者や女性が元気に行き交う姿は未来への希望であり、平成29年度から若い女性に職業観の醸成や本市の魅力を知ってもらうため（仮称）駅前女子カフェを設置し集う場の提供を行う。

また、学生と市内企業の若手職員との交流会や、成長が見込まれるソフト産業の誘致など、若者の地元定着や市外からの呼び込みに向けた取り組みをさらに充実させていく。

かった観光資源に偶然出会えるという効果も期待できる。

平成28年度、歴史などのテーマに沿って観光資源をつなぐスタンプラリー機能を搭載した観光アプリの開発に取り組んでいるところである。

コースを問わず周遊箇所数に応じて特典を付与するアイデアについては、観光客数の増加に一定の効果があると考えられ、戦略的な情報発信の観点も踏まえ、今後、検討していきたいと考えている。



村井 明美  
日本共産党  
(35分)

**児童生徒の心に寄り添う指導を**

**問** 市は中学生の生徒指導に「ゼロトランス」を取り入れ厳しい指導を行い、中には生徒指導の在り方を契機に不登校になる等の事例も生まれている。2017年2月、県教育委員会は生徒指導資料「児童生徒の心に寄り添う指導の在り方につ



岡崎 正淳  
無所属  
(30分)

**立地適正化計画基本方針は**

**問** ①40年後の人口分布を地理情報システムによる独自手法を採用して分析した理由は。

②居住誘導区域や都市機能誘導区域を定める市街化区域に対し市街化区域以外では疎外感を感じる懸念があるが、認識は。

③市民との合意形成の基本的な

いて」を通知した。全教職員への周知徹底と、各学校の「生徒指導規程」の改善は。

**答** 2月10日、資料を活用し校内研修を実施するなど教職員の指導力向上、組織的な生徒指導体制や教育相談体制の充実を図るよう通知。また児童生徒一人一人の可能性を信じ、成長の過程などを多面的、多角的に理解しながら支援する教育活動を行うよう指導した。生徒指導規程の見直しは学校の実態や子どもを取り巻く社会環境を踏まえ行うよう各学校に通知した。

考え方は。

**答** ①商圏人口が維持される地域は施設立地が促進され、利便性を求めた人が流入すると考え、こうした経済活動に着目した独自処理で商圏人口分布図を作成した。②市街化区域以外では、地域に合った生活サービス機能を確保し、交通ネットワークの中に組み込む中で、市民の皆さまが安心で、安全に暮らせるよう取り組む。③2018年度から2年間をかけて地域説明会等により、市民合意形成を図る中で成案化につなげる。

### 6月定例会の開催予定

6 / 19 (月)	★本会議 (市長提案説明など)
22 (木)	議会運営委員会
26 (月)	★本会議 (一般質問)
27 (火)	★本会議 (一般質問)
28 (水)	★本会議 (一般質問)
29 (木)	★本会議 (一般質問)
30 (金)	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)
7 / 4 (火)	議会運営委員会 ★本会議 (委員長報告など)

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。  
(ただし、7月4日の本会議は午後1時からの予定。)

○★印の日は、本会議の生中継をインターネット配信します。

○詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。  
☎084-928-1136

**問** 平成28年度の全国学力テストの結果、本市中学3年生の順位は広島県内では23市町中22位だが、この学力を向上させるには生徒に勉強の目的、重要性・必要性を周知させることにあるが教育委員会の認識は。



**石岡 久彌**  
(無所属) (30分)

**中学生の学力向上のための最重要事項は**

**答** いまだに差別事象が解消されていないので、部落差別のない社会の実現等に向けて、諸施策を推進していく。

**問** 同和行政の継続により市民の行政不信は充満しており、早期に撤廃すべきでは。

**答** 「福山100NEN教育」を通じて「自ら考え学ぶ授業」により「21世紀型スキル&倫理観」を育む。

**同和行政の撤廃は**



## 委員会の活動(1月~3月)

1月から3月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。

### ◆常任委員会

	開催日	調査・審査項目		開催日	調査・審査項目
総務	2/17	・国民健康保険事業の状況 ・2017年の交通事故抑止対策 ・第五次総合計画第1期基本計画 など	文教経済	2/17	・ものづくり福の耳プロジェクト ・(仮称)福山開府400年・福山城築城400年事業推進企画委員会の設置 など
	3/10	・付託された議案(6件)の審査 など		3/10	・付託された議案(2件)の審査 など
民生福祉	2/17	・福山版ネウボラ など	建設水道	2/17	・通学路の安全対策 ・耐震改修促進計画(第2期計画)の策定 ・走島海底送水管漏水事故 ・産業廃棄物の大量保管事案 など
	3/7	・指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例及び障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正		3/6	・異議申立てに係る諮問
	3/10	・付託された議案(5件)の審査		3/10	・付託された議案(7件)の審査 など

### ◆特別委員会

	開催日	調査項目
地方創生調査	3/10	・男女共同参画基本計画(第4次) など

各委員会の詳しい内容は、議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。  
なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。

# 議員研修会

## 「福山市のなかでの 福山市市民病院の役割」

講師

福山市市民病院

院長 坂口 孝作さん



2016年11月11日、議員研修会を開催し、議員、理事者など13名が参加しました。  
講師に福山市市民病院の坂口孝作院長を迎え、「福山市のなかでの福山市市民病院の役割」と題して、総合的な地域医療の構築について

の講義を受けました。  
初めに、市民病院の歩みと発展を報告されました。

市民病院は、1962年、福山市国民健康保険大門病院として開院し、1970年、福山市市民病院に名称を変更。

1977年、蔵王に250床の病院として移転。その後、増床、救命救急センターの開設、高度先進医療機器の導入など充実を図り現在、病床数506床の地域中核総合病院として高度先進医療を促進しています。

今日、寿命が延び、全国で100歳を超える人口は6万5千人余となつていますが、寝たきりにならず、認知症を患わず、最後まで元気はつらつと生きることが望まれます。健康・安心・人との交流が大切であり、市民病院は、備後圏域コミュニティー創生の中心的役割を担うことが求められていると語られました。

今後、チーム医療の強化、専門知識・技能を持った医療人の育成医療連携ネットワークを構築し、科学的・論理的根拠に基づいた医療を公平に安全に効率的に実施しその経過・結果について公表する医療を行うことが必要とも提示されました。

また、新しい経口抗体ウイルス剤による療法で、C型肝炎の治療効果も上がっており、福山からC型肝炎をなくすためにも、まずC型肝炎ウイルスの検査を受けることも強調されました。

### ◇講師紹介

- ・1983年、岡山大学大学院医学研究科修了
- ・2007年、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科准教授
- ・2007年、福山市市民病院がん診療統括部長
- ・2015年、福山市市民病院院長（現在に至る）

### 政務活動費の収支報告書を公開します

2016年度（平成28年度）に各会派に交付された政務活動費について、収支報告書などの関係書類を6月1日（木）から公開します。

政務活動費が市政の調査研究活動等（研修、広報など）にどのように使われたかを、支出書や領収書、また市外視察などの報告書等で見るができます。

これらの書類は、議会事務局に申請すれば、誰でもすぐに閲覧でき、有料でコピーもできます。

詳しくは、議会事務局庶務課にお問い合わせください。  
(☎084-928-1123)

### 編集後記

風薫る5月、新緑が爽やかな季節となりました。3月定例会は25日間の会期で44議案が上程され、代表質問、一般質問には12人が立ちました。

議会だよりの編集に当たっては、多くの市民の皆さまに親しんで読んでいただけるよう、表紙をはじめ中身の構成にも、委員が視察等で学んだことを生かしながら取り組んでいます。この号より表紙の定例会月と発行回数の表記を変えています。

今後も市民の皆さまに手に取って読んでいただける紙面づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

（生田政代）



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 [giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp)

